

【尾形 和昭】紹介文

2017.1 版

1972 年 1 月生、広島県三原市出身。県立三原東高校、日本工学院(八王子)卒。

ハピネスマイル合同会社 代表

NPO 法人ファザーリング・ジャパン 賛助会員

(IT 部会リーダー、イクボスプロジェクト、パートナーシッププロジェクト)

NPO 法人コヂカラ・ニッポン 賛助会員

小学校 PTA 副会長、江戸川区平井小松川地区青少年委員会 委員

家族構成：妻、”レインボー(2 児の)パパ” (8 歳娘 / 5 歳息子)

経歴

1993 年、旧)住友金属工業に入社。IT 部門で開発、営業等、数多くの仕事に携わる。

2008 年、第一子が生まれたときは「ワーク・ライフ・バランス」については半ば理解していたが、常時の長時間労働、時には帰宅が 24 時越えの長時間労働や休日出勤・出張を続けていた。

そんな中、働きがい調査などの担当につき、働きがいのある職場について研究。

パートナーの第二子の妊娠により「男性が育児参画」していくことが必須であることを実感し、

自ら、2011 年 9 月末～10 月に”育休”を取得。職場・グループ会社での働き方改革を実践してきた。約 1800 名のトップの経験を活かし、働き方改革を世の中に広めていくため、2016 年 8 月末に退職。現在「ワーク・ライフ・シナジー」「働き方改革」の重要性を、多くのパパ・ママに伝えるために、労働組合や企業等を中心に講演等の活動している。